

授業概要

本講座は、特別の教科 道徳の基礎理論、そして実践的指導力を身に付けることを目標にする。小・中学校の道徳教育は、道徳の時間を要として学校の教育活動全体を通じて行われている。平成26年10月、道徳の時間は「特別の教科 道徳」とされ、道徳教育は大きな転換期を迎えた。教師(指導者)には、道徳教育の実践力が一層求められている。そこで、指導要領解説を事前に読み込むとともに、実践に基づいた確かな実践力を高めるため、対話型授業を中心に、アクティブラーニングを取り入れ、実践的な学習になるよう指導する。①道徳とは何か、その本質について多角的に考察する。②中学校学習指導要領道徳の読解を通して、道徳教育の基本的な在り方とその特質を理解し、実践に関する基本的知識・スキルを習得する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス（講義内容の概要と留意点） 特別の教科 道徳の自己経験を振り返り、学習の意義と役割を考える
第 2 回	道徳に対する学習イメージの具体化
第 3 回	道徳教育の成立と必要性、変遷と諸相の理解
第 4 回	特別の教科 道徳の領域と体験活動の実際とカリキュラム構成を考える
第 5 回	実践事例（1）道徳教育の意義・目標
第 6 回	実践事例（2）道徳教育の内容・指導計画①
第 7 回	実践事例（3）道徳教育の内容・指導計画②
第 8 回	実践事例（4）道徳の時間の指導（学習指導案）①読み物資料を使用した基本授業例
第 9 回	実践事例（5）道徳の時間の指導（学習指導案）②体験活動に基づいた基本授業例
第 10 回	特別の教科 道徳の指導計画と指導案を立てる（1）目標、体験活動の重視
第 11 回	特別の教科 道徳の指導計画と指導案を立てる（2）単元・教材構造図と指導計画立案
第 12 回	特別の教科 道徳の指導計画と指導案を立てる（3）本時案の作成と評価計画の立案
第 13 回	実践事例（6）教育活動全体を通じて行う道徳教育・高等学校の道徳教育
第 14 回	実践事例（7）家庭や地域社会との連携・道徳教育の評価
第 15 回	課題設定と課題解決に基づく個別研究のまとめ
第 16 回	筆記試験の実施：特別の教科 道徳の基礎理論と実践的指導力を深める

到達目標

- ・ 現代的な課題と特別の教科 道徳の領域の意義を理解する。
 - ・ 子どもの発達段階を踏まえた道徳教育の理解を深める。
 - ・ 特別の教科 道徳の授業づくりと実践的指導力・評価力を獲得する。
- 特別の教科 道徳の実践的カリキュラムづくりをアクティブラーニングによって開発する。

履修上の注意

教職履修の必修科目として、資格・免許状取得（教職・学芸員・司書）のための知識や技術、社会に貢献する力を身に付けます。教職に就くために、理論とともに生きてはたらく実践力を学ぶことをふまえ、受講生が積極性と熱意をもって参加されることを期待しています。遅れてのレポート提出は受け付けますが、受講には実践力を育成するため、遅刻は原則認められません。事由を相談してください。

予習・復習

- ・ 予習：配布資料を読み、課題を調べ、課題意識をもち整理する。
- ・ 復習：配布資料、講義から授業内容を振り返り、小レポートを提出する。

評価方法

- ・ 特別の教科 道徳の理論と実践の理解度（20%）
- ・ 特別の教科 道徳の構造と指導計画の実践的な作成（40%）
- ・ 特別の教科 道徳の指導案作成（40%）

テキスト

- ・ 教科書名：小・中「学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」
- ・ 著者名：文部科学省（最新版）
- ・ その他、配布資料